

スーパーマーケット販売統計調査資料

2016年11月実績 速報版(パネル270)

10月実績 確報版(パネル270)

(2016年12月21日公表)

調査資料概要

【パネル270社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2016年4月実績よりパネル対象企業変更(275社→270社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタアベーカーリー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2016年12月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年11月実績 速報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	85,724,020	100.0%	104.1%	101.7%
食品合計	76,056,286	88.7%	104.6%	102.0%
生鮮3部門合計	29,356,488	34.2%	106.8%	104.0%
青果	12,031,936	14.0%	115.3%	112.3%
水産	7,287,389	8.5%	99.7%	97.5%
畜産	10,037,163	11.7%	103.0%	100.1%
惣菜	8,222,046	9.6%	105.1%	102.1%
日配	16,471,217	19.2%	103.7%	101.4%
一般食品	22,006,535	25.7%	102.4%	99.8%
非食品	7,236,462	8.4%	101.3%	100.8%
その他	2,431,318	2.8%	96.7%	96.8%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	11,734,824	43	102.8%	100.6%
関東地方	31,499,809	73	104.4%	102.3%
中部地方	10,424,180	53	104.7%	100.4%
近畿地方	19,044,181	44	103.6%	102.3%
中国・四国地方	8,721,464	34	106.9%	101.1%
九州・沖縄地方	4,299,563	23	101.7%	100.7%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	729,527	47	97.9%	97.9%
4~10店舗	3,540,632	68	101.2%	100.5%
11~25店舗	9,693,531	65	101.8%	100.8%
26~50店舗	16,320,620	47	104.1%	101.2%
51店舗以上	55,439,711	43	104.7%	102.1%

集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	83,242,474
総店舗数 (店舗)	7,740	店舗平均月商 (万円)	11,075
総売場面積 (㎡)	12,795,541	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2016年12月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年10月実績 確報版 (パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	88,310,338	100.0%	104.0%	101.5%
食品合計	79,287,683	89.8%	104.6%	102.1%
生鮮3部門合計	30,588,566	34.6%	105.0%	102.4%
青果	13,024,460	14.7%	108.6%	106.1%
水産	7,584,484	8.6%	102.0%	99.5%
畜産	9,979,622	11.3%	102.9%	100.1%
惣菜	8,725,791	9.9%	105.4%	102.6%
日配	17,226,579	19.5%	105.0%	102.2%
一般食品	22,746,747	25.8%	103.4%	101.5%
非食品	6,466,728	7.3%	100.6%	100.0%
その他	2,555,972	2.9%	98.5%	97.0%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,173,925	43	103.9%	102.3%
関東地方	32,639,844	73	104.5%	102.4%
中部地方	10,885,540	53	105.1%	100.8%
近畿地方	19,082,102	44	102.0%	100.2%
中国・四国地方	9,051,110	34	107.9%	102.1%
九州・沖縄地方	4,477,816	23	101.5%	101.0%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	781,349	47	98.3%	98.3%
4~10店舗	3,680,298	68	100.3%	100.1%
11~25店舗	10,051,807	65	102.3%	101.1%
26~50店舗	16,979,271	47	104.1%	101.2%
51店舗以上	56,817,613	43	104.6%	101.9%

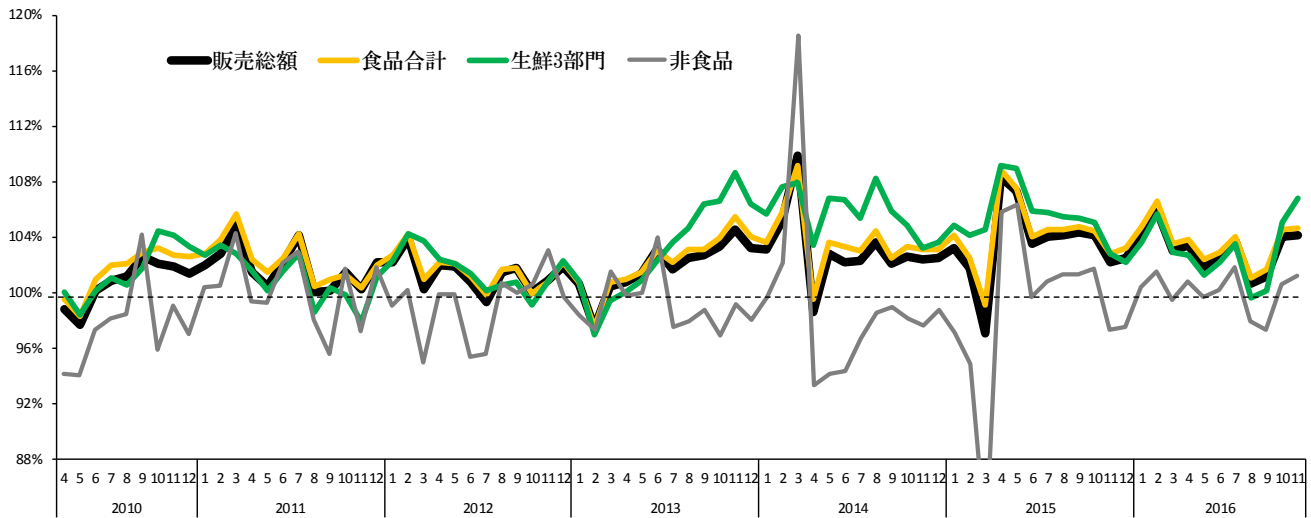
集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	85,403,411
総店舗数 (店舗)	7,721	店舗平均月商 (万円)	11,438
総売場面積 (㎡)	12,739,202	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.9

※売上高は税抜金額

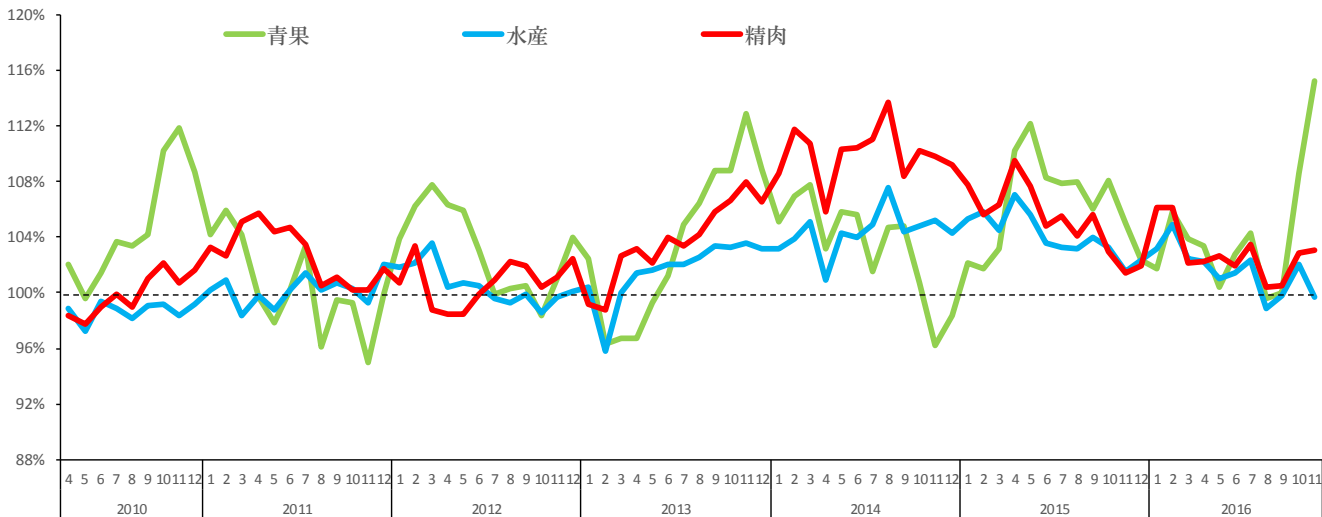
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2016年11月(前年同月比/全店ベース)

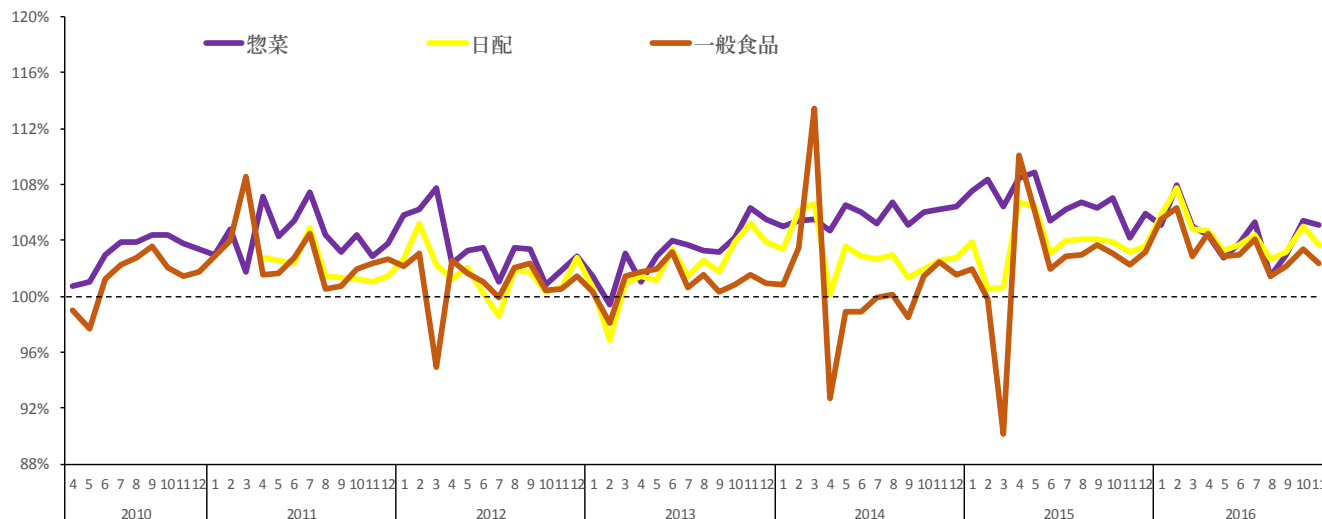
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2016年10月までは確報版による前年同月比、2016年11月は速報版による前年同月比
 ※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」、「非食品」に「その他」を含む

2016年11月エリア別気候状況

1. 平均気温：北日本では気温がかなり低く、上旬は記録的な低温

上旬：北日本ではかなり低く、東・西日本で低かった。

中旬：西日本と沖縄・奄美ではかなり高く、東日本で高かった。

下旬：北日本ではかなり低かった。一方、西日本と沖縄・奄美で高くなった。

2015年11月との比較：上旬は全国的に大幅に気温が低く、中旬以降も北日本を中心に低くなった

	平年との比較 (°C)						今年と前年との差 (°C)		
	2016年11月			2015年11月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	-5.1	0.2	-3.5	0.6	1.9	-1.2	-5.7	-1.7	-2.3
東北地方	-2.8	0.7	-1.3	1.1	3.0	0.5	-3.9	-2.3	-1.8
関東甲信地方	-1.9	1.1	-0.6	1.4	3.3	1.3	-3.3	-2.2	-1.9
北陸地方	-2.2	1.6	0.0	1.6	2.9	0.8	-3.8	-1.3	-0.8
東海地方	-1.5	1.8	0.5	1.2	3.1	1.1	-2.7	-1.3	-0.6
近畿地方	-2.0	1.9	0.8	1.7	3.2	1.0	-3.7	-1.3	-0.2
中国地方	-1.7	2.2	0.8	1.6	3.2	0.8	-3.3	-1.0	0.0
四国地方	-1.7	2.3	1.1	1.6	3.4	1.2	-3.3	-1.1	-0.1
九州北部	-1.5	2.9	0.6	1.7	4.1	1.3	-3.2	-1.2	-0.7
九州南部・奄美地方	-0.9	2.7	0.8	1.5	3.8	1.2	-2.4	-1.1	-0.4

平年差

+2°C以上	-2°C以上
+1°C以上	-1°C以上

前年差

+2°C以上	-2°C以上
+1°C以上	-1°C以上

2. 日照時間：北日本日本海側の日照時間はかなり少なかった

上旬：北日本ではかなり少なかった。一方、西日本で多くなった。

中旬：沖縄・奄美ではかなり多く、東日本日本海側が多かった。

下旬：北日本日本海側、東日本太平洋側、西日本、沖縄・奄美で少なくなった。

2015年11月との比較：上旬は西日本を中心にやや多く、中旬は関東以西でやや多くなった。

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年11月			2015年11月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	69	103	84	114	120	91	-45	-17	-7
東北地方	88	108	84	89	114	64	-1	-6	20
関東甲信地方	110	95	71	96	60	76	14	35	-5
北陸地方	112	126	95	91	89	63	21	37	32
東海地方	116	101	70	94	62	78	22	39	-8
近畿地方	111	115	76	77	77	82	34	38	-6
中国地方	94	104	79	69	73	83	25	31	-4
四国地方	120	105	85	66	78	72	54	27	13
九州北部	124	90	75	94	60	56	30	30	19
九州南部・奄美地方	130	101	91	78	78	76	52	23	15

平年差

平年比150%以上	平年比50%以下
平年比125%~149%	平年比51%~75%

前年差

+50%以上	-50%以下
+25~49%	-25~-49%

3. 降水量：24日は関東甲信地方で積雪

上旬：東・西日本太平洋側、沖縄・奄美で少なくなった。

中旬：東日本太平洋側、西日本で多かった。一方、東日本日本海側で少なくなった。

下旬：沖縄・奄美ではかなり多く、東日本太平洋側、西日本で多かった。一方、北日本、東日本日本海側で少なかった。

2015年11月との比較：上旬から中旬にかけてかなり降水量が少なく、下旬は西日本で多くなった。

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年11月			2015年11月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	139	92	57	78	98	220	61	-6	-163
東北地方	56	89	39	154	135	168	-98	-46	-129
関東甲信地方	37	235	143	195	274	101	-158	-39	42
北陸地方	87	48	64	89	90	100	-2	-42	-36
東海地方	56	140	125	145	261	82	-89	-121	43
近畿地方	72	91	145	175	301	46	-103	-210	99
中国地方	42	115	139	169	370	48	-127	-255	91
四国地方	67	107	160	141	345	40	-74	-238	120
九州北部	67	235	138	106	403	61	-39	-168	77
九州南部・奄美地方	47	147	139	70	407	81	-23	-260	58

平年差

平年比150%以上	平年比50%以下
平年比125%~149%	平年比51%~75%

前年差

+50%以上	-50%以下
+25~49%	-25~-49%

気象庁ホームページ・報道発表資料「11月の気候」参照

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均

スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2016年12月調査結果（11月実績）
（2016年12月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2.カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1.景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

12月調査（11月実績）結果概況

景気判断DI 現状判断、見通し判断ともに2ヵ月連続で改善

11月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から+1.8の47.2、見通し判断も前月から+1.3の43.7となり、共に小幅ながら、2ヵ月連続の改善となった。

経営動向調査は、売上高DIが1.1（前月比+0.6）とわずかながらプラス、収益DIは-3.0（前月比+3.4）とマイナス幅を縮小するなどどちらも小幅に上昇している。前月大きく上昇した客単価DIをはじめとする他のDIも前月の水準付近ではば横ばいでの推移となっている。

カテゴリ動向調査は、相場の高騰により青果DIが27.2（前月比+12.7）と大きな上昇をみせているが、他のDIは、総じて気温の低下により冬物商材の動きはよかったものの、日曜日が一日少ない曜日めぐりにより伸び悩みをみせている。（カテゴリ動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は、競合DIを除くすべてのDIが前月に引き続き、わずかに改善をみせた。直近2ヵ月の大幅改善により、すべての移動平均線がプラス方向に転換しており、2015年の秋以降続いてきた悪化傾向から反転の兆しがみられるようになってきている。（周辺地域景気動向DI長期傾向参照）

11月は前月大きく改善をみせた水準を現状判断、見通し判断共にさらに上回る結果となった。相場高に支えられ、来客数DIのマイナスを客単価DIのプラスでカバーする厳しい環境は続いているが、景況感には底打ちの兆しがみられるようになってきた。今後も、相場や天候に大きく左右される可能性はあるものの、堅調な動向を期待したい。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月：47.2 (+1.8) 前月：45.4	消費者購買意欲DI 当月：47.8 (+1.8) 前月：46.0	周辺地域 競合状況DI 当月：40.7 (-1.9) 前月：42.6	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：46.7 (+0.4) 前月：46.3
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月：43.7 (+1.3) 前月：42.4	消費者購買意欲DI 当月：45.2 (+0.8) 前月：44.4	周辺地域 競合状況DI 当月：39.4 (-1.6) 前月：41.0	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：45.9 (+0.8) 前月：45.1
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月：1.1 (+0.6) 前月：0.5	客単価DI 当月：7.1 (+1.7) 前月：5.4	来客数DI 当月：-5.0 (+1.0) 前月：-6.0	
収益DI 当月：-3.0 (+3.4) 前月：-6.4	販売価格DI 当月：7.1 (+1.4) 前月：5.7	生鮮品仕入原価DI 当月：16.0 (-1.9) 前月：17.9	食品仕入原価DI 当月：4.6 (+1.4) 前月：3.2

カテゴリ動向

青果DI 当月：27.2 (+12.7) 前月：14.5	水産DI 当月：-12.0 (-3.2) 前月：-8.8	畜産DI 当月：-3.2 (+2.2) 前月：-5.4	
惣菜DI 当月：6.6 (-1.0) 前月：7.6	日配DI 当月：0.0 (-1.5) 前月：1.5	一般食品DI 当月：-7.9 (-3.6) 前月：-4.3	非食品DI 当月：-10.4 (-5.7) 前月：-4.7

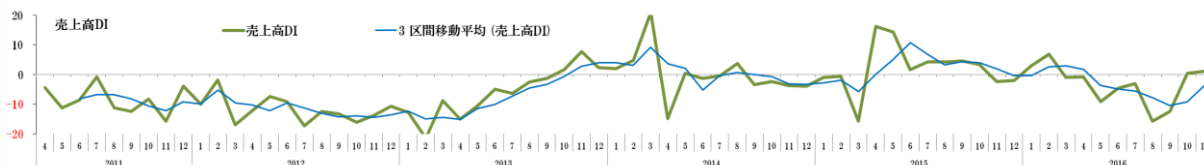
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

12月調査（11月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

10月に大幅上昇後、2ヵ月連続でプラス圏を維持

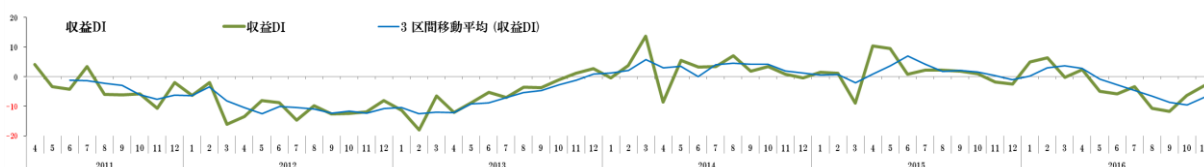
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	5.4	26.5	31.9	33.3	2.9	0.5
売上高 (当月)	5.6	24.4	32.5	35.0	2.5	1.1



2. 収益DI

1月から下降傾向続くも、10月から2ヵ月連続で上昇

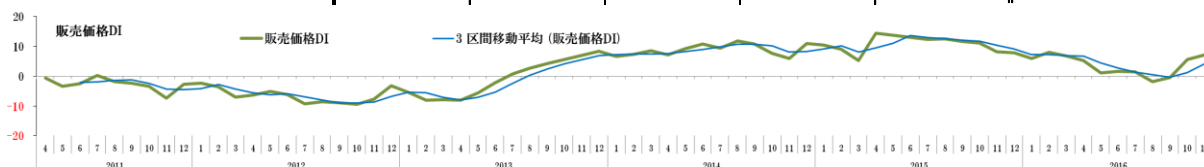
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	9.6	29.8	38.4	21.2	1.0	-6.4
収益 (当月)	5.1	32.5	34.4	25.5	2.5	-3.0



3. 販売価格DI

2015年4月をピークに下降傾向続くも、直近は上昇

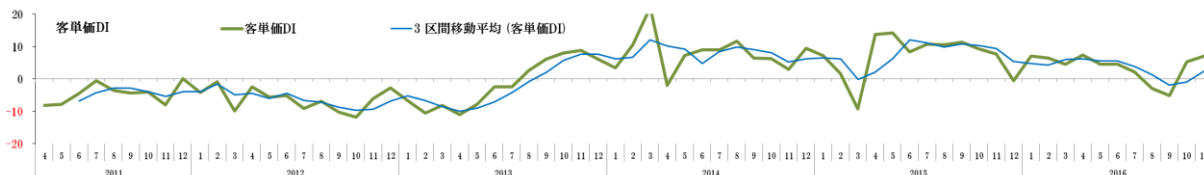
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	0.0	11.9	54.2	32.8	1.0	5.7
販売価格 (当月)	0.6	6.9	57.2	34.0	1.3	7.1



4. 客単価DI

2015年4月をピークに下降傾向続くも、直近は上昇

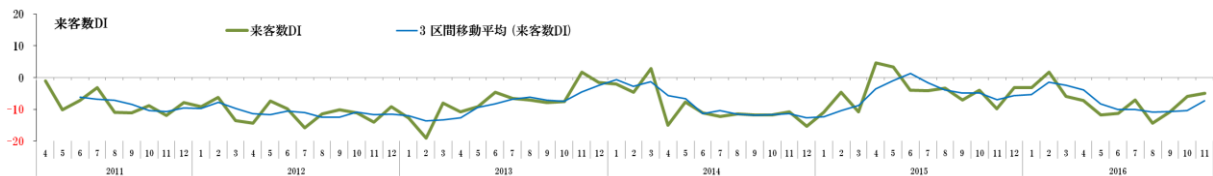
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	0.0	16.3	46.0	37.1	0.5	5.4
客単価 (当月)	0.0	15.7	40.3	44.0	0.0	7.1



5. 来客数 DI

マイナス圏での低迷が続くも、直近は小幅な上昇

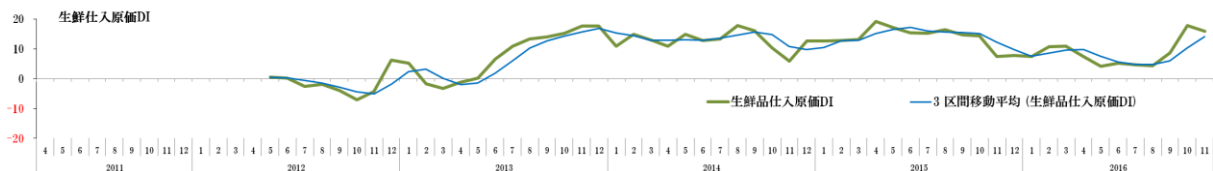
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	3.9	37.4	37.4	21.2	0.0	-6.0
来客数 (当月)	4.4	37.1	33.3	24.5	0.6	-5.0



6. 生鮮仕入原価 DI

2ヵ月連続で2桁プラス水準を維持

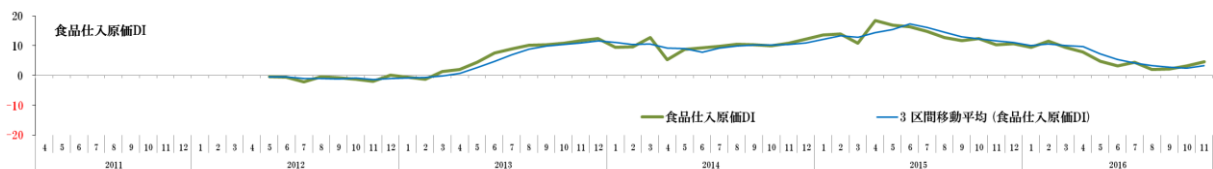
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	1.0	4.1	31.0	50.3	13.7	17.9
生鮮仕入原価 (当月)	0.6	4.5	34.6	50.6	9.6	16.0



7. 食品仕入原価 DI

2015年4月をピークに下降傾向続くも、直近は横ばいでの推移

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	2.5	5.1	70.7	20.7	1.0	3.2
食品仕入原価 (当月)	0.6	4.5	72.0	21.7	1.3	4.6

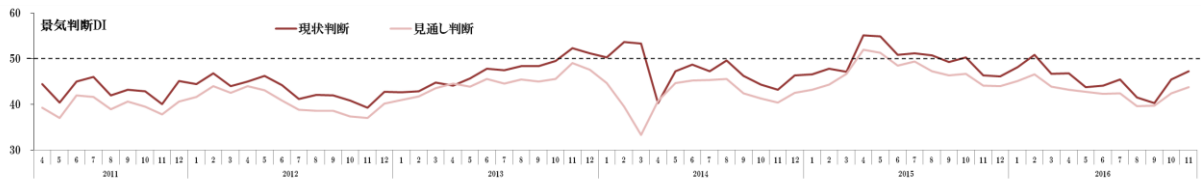


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ 2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

2ヵ月連続で現状判断は改善、見通し判断も小幅に改善をみせる

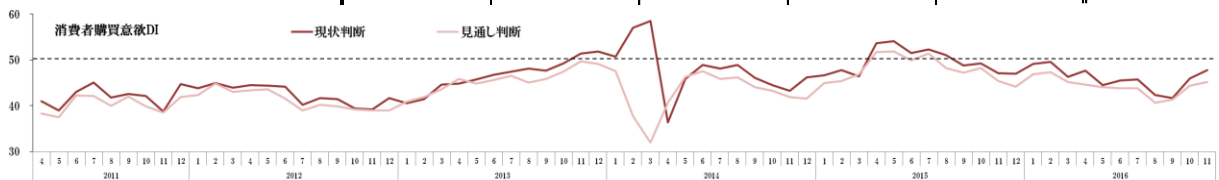
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	1.5	22.4	69.3	6.8	0.0	45.4
【現状】景気判断 (当月)	1.2	22.2	63.0	13.6	0.0	47.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	2.5	29.1	65.0	3.4	0.0	42.4
【見通し】景気判断 (当月)	3.1	25.9	64.2	6.8	0.0	43.7



2. 消費者購買意欲 DI

2ヵ月連続で現状判断は改善、見通し判断も小幅に改善をみせる

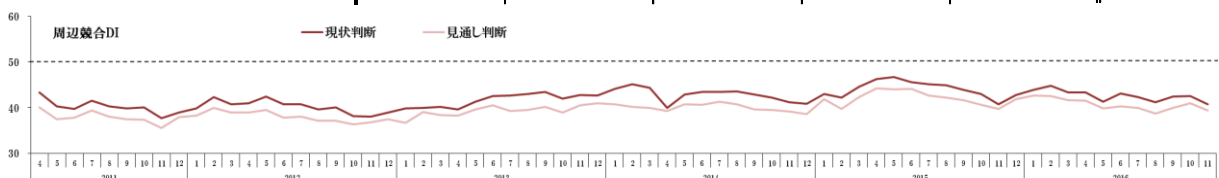
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.0	23.8	68.4	7.8	0.0	46.0
【現状】購買意欲 (当月)	0.0	19.8	69.1	11.1	0.0	47.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.0	26.3	69.8	3.9	0.0	44.4
【見通し】購買意欲 (当月)	0.0	25.3	68.5	6.2	0.0	45.2



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に悪化し、低位横ばい傾向続く

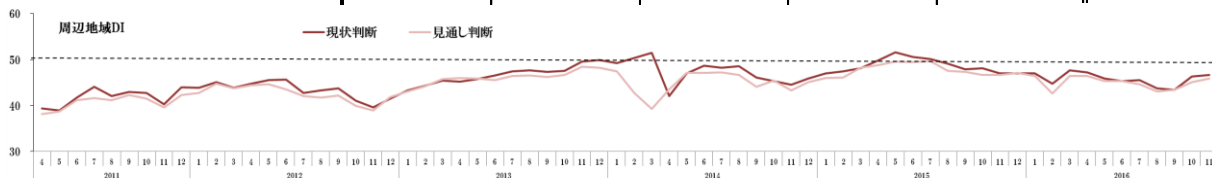
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	2.9	25.2	70.4	1.5	0.0	42.6
【現状】競合状況 (当月)	4.9	29.0	64.8	0.6	0.6	40.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	5.9	25.9	66.8	1.5	0.0	41.0
【見通し】競合状況 (当月)	5.6	33.3	59.3	1.9	0.0	39.4



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

2ヵ月連続で現状判断、見通し判断共小幅に改善

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.5	16.7	79.9	2.9	0.0	46.3
【現状】地域景気(当月)	0.6	14.9	81.4	3.1	0.0	46.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	1.0	18.6	79.4	1.0	0.0	45.1
【見通し】地域景気(当月)	1.3	16.9	78.8	3.1	0.0	45.9

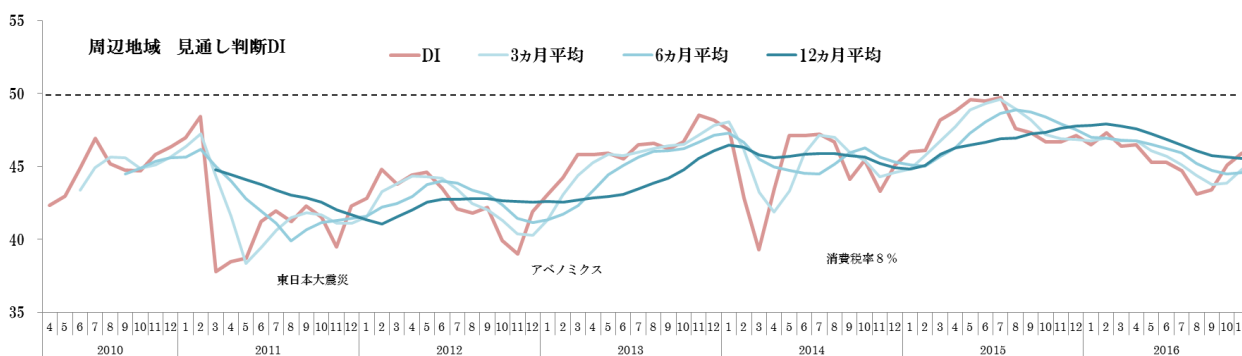
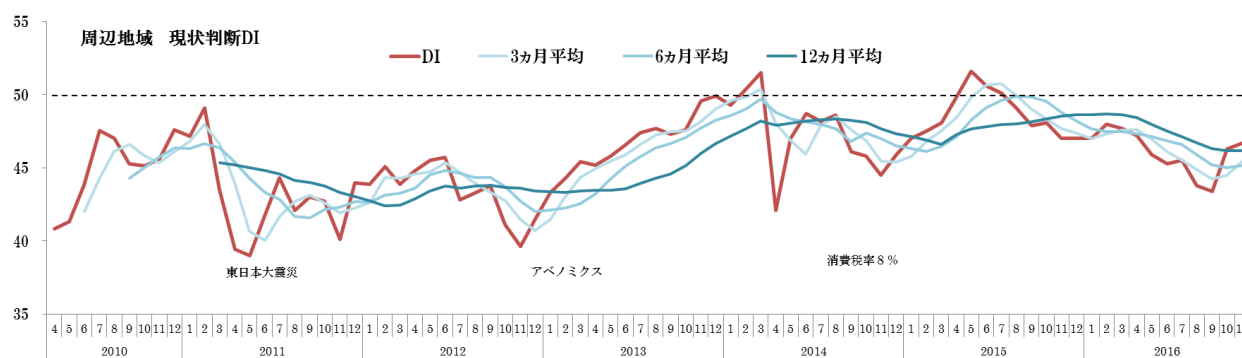


長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降改善傾向を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した。5月に一旦持ち直したものの、6月～8月まで横ばい推移、9月に再び悪化した。その後、年末から6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで改善をみせた。

その後、6月以降悪化傾向が続き11月は下落の速度が早まった。12月以降は横ばいでの推移、2016年3月に再び悪化をみせた。その後、再び横ばいでの推移となっていたが、8月には大きく下落した。直近9月に下げ止まりをみせ、10月は一転して大きく改善し、11月も小幅に改善した。

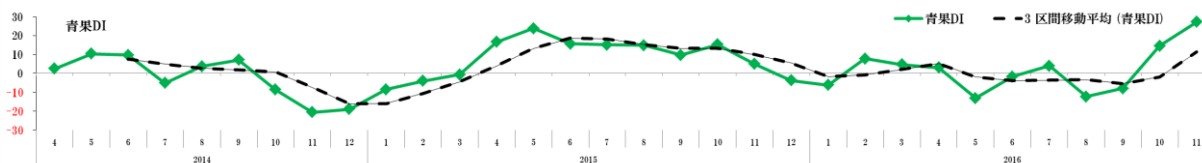
2016年4月に13ヵ月ぶり「12ヵ月移動平均」がマイナスを記録したが、直近の改善により、横ばい推移に転換、他の移動平均はプラスに転換をみせた。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：27.2（かなり好調）

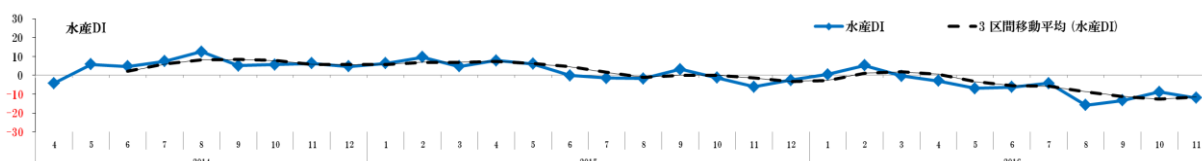
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	3.1	14.5	24.9	36.3	21.2	14.5
青果（当月）	1.3	5.1	12.8	44.9	35.9	27.2



キャベツ・レタス・大根などの大型野菜やきゅうり・かぼちゃなどで相場が高騰している影響により一品単価が大きく上昇し、全体としてかなり好調となった。平年に比べかなり気温が低下し、鍋物用の野菜の動きがよくなった。また、相場高による小分け・少量販売、カット野菜が好調となっている。果物では柑橘類（特にみかん）は、相場が高いものの、味や品質がよく好調となった。

2. 水産DI：-12.0（不調）

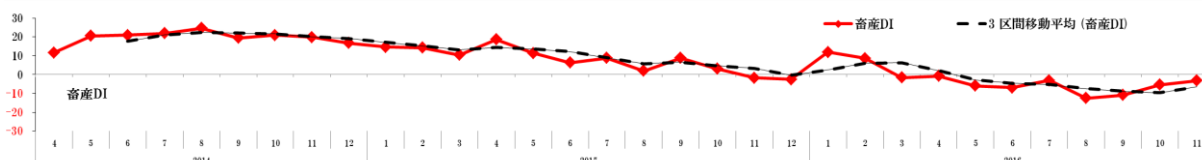
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	8.8	37.6	34.5	18.0	1.0	-8.8
水産（当月）	10.9	41.0	34.0	13.5	0.6	-12.0



この時期水産カテゴリーの中心となる生するめいか、さんま、鮭が水揚げ不足の影響で相場高、品薄となり、不調となった。低下により期待された煮魚・鍋材の動きもよくなかった。まぐろは比較的相場が安定しており好調のコメントが散見された。

3. 畜産DI：-3.2（やや不調）

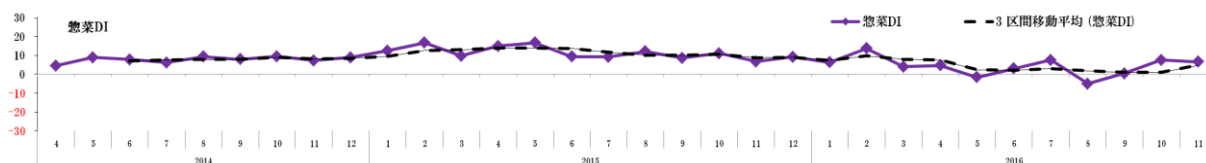
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	5.7	37.3	32.6	21.8	2.6	-5.4
畜産（当月）	3.2	28.6	46.8	20.8	0.6	-3.2



牛肉は和牛を中心に相場高が続いており、国産牛や輸入牛、相場が安定してきた豚肉や鶏肉の売り込みを強化している店舗が多くみられ、単価の伸び悩み傾向が強い。鍋需要により鶏肉が比較的好調となっているが、鳥インフルエンザ発生で今後の動向を懸念するコメントがみられた。加工品についてはやや回復傾向もみられるようになっている。

4. 惣菜DI：6.6（やや好調）

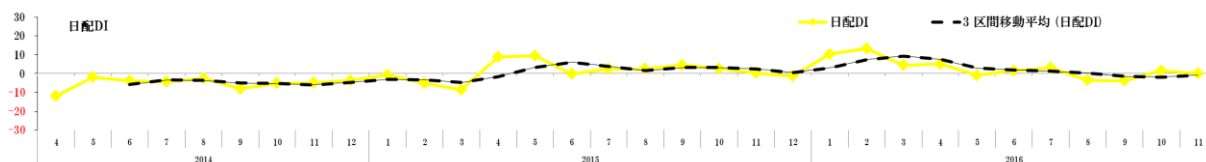
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	3.6	16.7	34.9	35.4	9.4	7.6
惣菜（当月）	3.9	14.2	40.0	35.5	6.5	6.6



青果物相場高の影響で、サラダ関連や和様惣菜が引き続き好調となった。気温の低下と共にホットメニューの動きもよくなった。特にから揚げやてんぷらなどの揚げ物類が好調とするコメントが多かった。また時間帯別のチャンスロス削減に取り組んでいる店舗では成果をあげている。一方で日曜日が一日少ない影響を指摘するコメントもみられた。

5. 日配DI：0.0

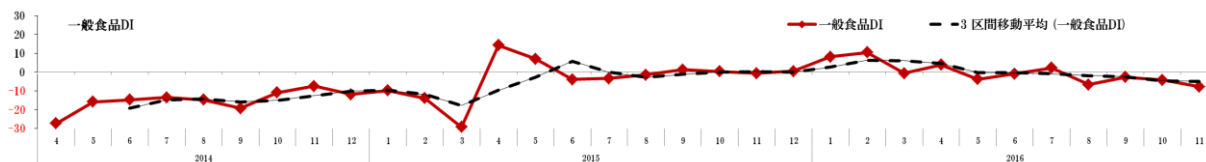
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	4.1	19.1	46.9	26.3	3.6	1.5
日配（当月）	2.6	26.5	41.3	27.7	1.9	0.0



気温の低下により、練り物やおでん関連の動きがよくなった。野菜の高騰による冷凍野菜や漬物、機能性ヨーグルトや乳酸菌飲料が引き続き好調となっている。価格が下落している卵を不調にあげるコメントが多い。また、同業・他業態との価格競争の厳しさを指摘するコメントが多くみられた。

6. 一般食品DI：-7.9（やや不調）

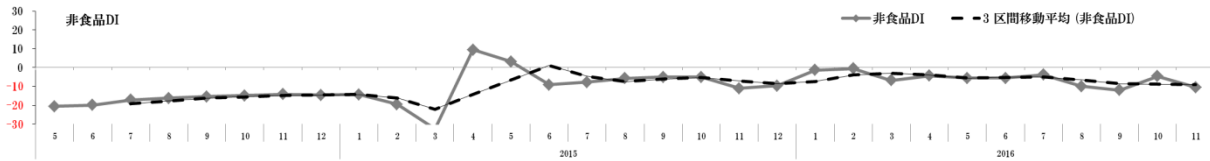
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	6.2	29.5	41.5	20.7	2.1	-4.3
一般食品（当月）	4.5	38.7	41.3	14.8	0.6	-7.9



単価上昇を追い風に米類は比較的好調とする店舗が多くみられた。気温の低下によりカレーやシチュー関連、野菜の高騰により野菜飲料が好調、菓子類もチョコレートを中心にやや好調とのコメントが多い。ポジョレーヌーボーは前年並み、麺類は不調とのコメントが多い。日曜日が少ない影響や他業態との価格競争の厳しさが増しているとの指摘も多くみられた。

7. 非食品 DI：-10.4（不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	7.4	28.2	44.1	16.0	4.3	-4.7
非食品（当月）	7.4	42.3	36.9	11.4	2.0	-10.4



気温の低下で冬物商品やインフルエンザ予防関連の動きがよくなった店舗もみられたが、他業態との競合で引き続き厳しい状況にあり伸び悩みをみせている。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調： ～ 20 好調： 20 ～ 10 やや好調： 10 ～ 0
 やや不調： 0 ～ -10 不調： -10 ～ -20 かなり不調： -20～

2016年12月調査（11月実績）キーワード TOP3

1. 青果相場高
2. 気温の低下
3. 日曜日が一日少ない

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

11月実績速報版 205社
 10月実績確報版 162社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp